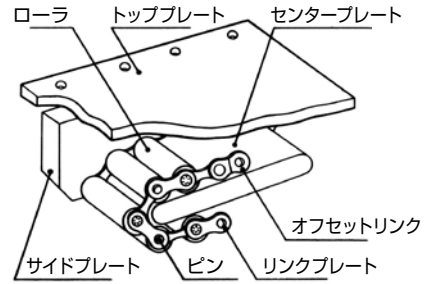


R チルトンク・1

確認事項 ①能力 ②タイプ



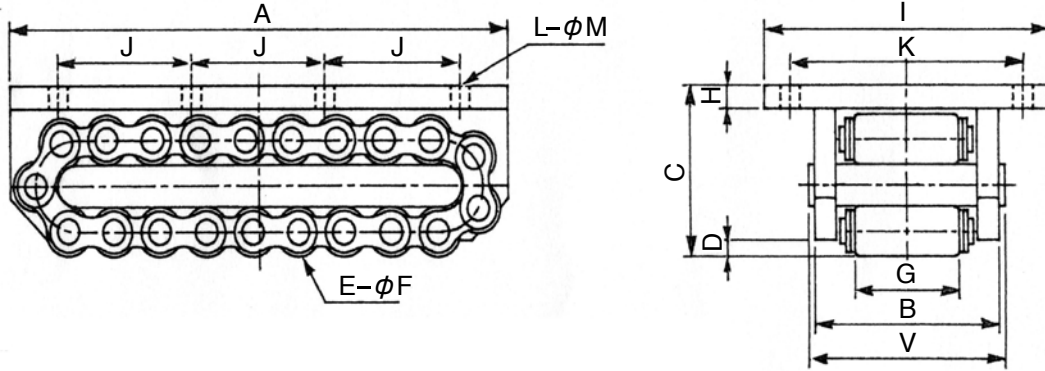
●No.4 Type3



■取付方法

下向き型	上向き型	横向き型
最も一般的な取付方法です。	チルトンクの取替えおよび、移動が容易です。	ガイドローラとして使用できます。

■主要寸法図



■仕様

型 式	No.4	No.12	No.25	No.50	No.75	No.100		
機 種	タイプ3							
能 力 (t)	4	12	25	50	75	100		
走行抵抗 (a/r)	0.05		0.04			0.05		
重 量 (kg)	5.7	16.0	39.0	78.0	105.0	129.0		
フレーム	長さ A	160	230	320	470	620		
	幅 B	92	122	150	168	189		
	高さ C	66	97	130	162	174		
	スキマ D	7	10	14	18			
ローラ	個数 E	15	13	15	17	19	23	
	直径φF	18	30	38	50			
	長さ G	51	70	80	86	100		
トッププレート	接地個数	5	4-5	5	6-7	7	9	
	板厚 H	9	12	16	19	22		
	幅 I	150	200	250	280	300		
	J	125	180	250	180	200	180	
	K	125	165	210	230	250		
	L	4			6			8
	φM	11	14	18	22			
センタープレート幅 V	106	136	166	185	208			

⚠ 使用上のご注意

- 路面には鋼板、形鋼使用のこと
路面が軟弱だと、チルトンクがめりこむことがあります。
路面の強度や段差には要注意。
- 5m/min 以内のスピードで
チルトンクの移動速度は
5m/min 以内で行ってください。
- 荷重オーバーは厳禁
路面状況により偏荷重が
かかることがあります。
荷重オーバーは絶対禁止です。
- ひたすらまっすぐ、が原則
方向転換はチルトンクへの負担が
大きくなるため、ジャッキアップに
よって行ってください。

下記計算式を基準に機種を選定し、チルトンクに定格能力以上の荷重が作用しないようにしてください。

$$\text{チルトンク機種} \geq \frac{\text{移動物重量}}{\text{支持台数} \times \text{使用係数}}$$

※移動物重量：移動物の自重、偏荷重及び台車等の総重量 (ton)

※支持台数：移動物を支持できる数量またはチルトンク使用数量 (台)

※使用係数：移動物重量が 100ton 未満の場合は 0.67 以下に設定
移動物重量が 100ton 以上の場合は 0.50 以下に設定
(注) クレーンレール使用のときは上記数値の 1/2 以下としてください。

■料金表(メーカー：チルコーポレーション)

3日間保証

型 式	能 力 (t)	重 量 (kg)				
No.4 Type3	4	5.7				
No.12 Type3	12	16.0				
No.25 Type3	25	39.0				
No.50 Type3	50	78.0				
No.75 Type3	75	105.0				
No.100 Type3	100	129.0				